



2024年11月8日

各 位

会 社 名 株式会社タイミー
代 表 者 名 代表取締役 小川 嶺
(コード番号：215A 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役 CFO 八木 智昭
TEL. 03-6822-3013

よくある質問と回答

平素よりご愛好いただきありがとうございます。足元で投資家様からいただいた主な質問とその回答について下記の通り開示いたします。

本開示は投資家様への情報発信強化とフェア・ディスクロージャーを目的としております。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性がある点ご了承ください。

Q1. アクティブアカウント当たり流通総額が減少傾向なのはなぜでしょうか。

主に、クライアントミックスの変化が要因となっております。

弊社はコロナ禍で物流業界での利用が拡大し、以降はリオープニングを背景として飲食業界、第3のコーア業界として小売業界の利用が広がり、現在のクライアント構成となっております。各業界の1事業所当たりの流通総額を比較すると、物流業界が相対的に大きく、飲食・小売業界のシェアが高まることは、全体のアクティブアカウント当たりの流通総額の減少に繋がります。

また、FY23/10 4Qから小規模のクライアント獲得を目的としたクライアントマーケティングを本格的に開始しており、小規模クライアントの数が増加したことも、全体のアクティブアカウント当たりの流通総額の減少の要因となっております。

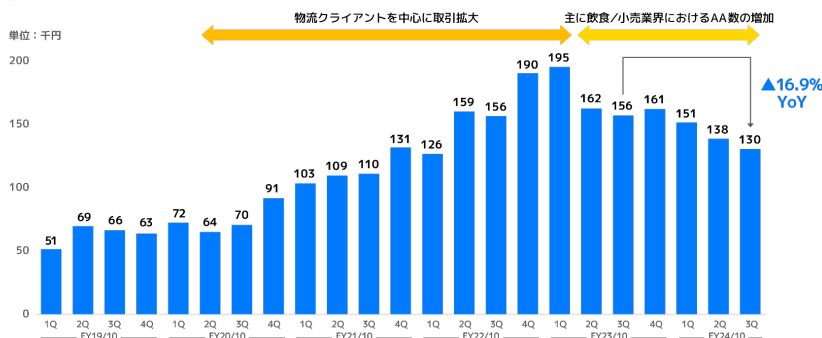
2024年10月期 第3四半期決算説明資料 P13

アクティブアカウント当たり流通総額の推移

Timee

クライアントミックスの変化によりAA当たり流通総額は減少傾向。

アクティブアカウント当たり流通総額



13

一方で物流業界に限らず、飲食・小売といった幅広い業界での利用を拡大すること、大・中規模に限らず、小規模のクライアントの利用を拡大することは、プラットフォームの魅力度の増加に繋がり、ワーカエンゲージメントにも間接的に寄与するものと考えております。

また、アクティブアカウント当たりの流通総額だけでなく、アクティブアカウント数も重要な KPI と捉えており、アクティブアカウント数については順調に増加しております。

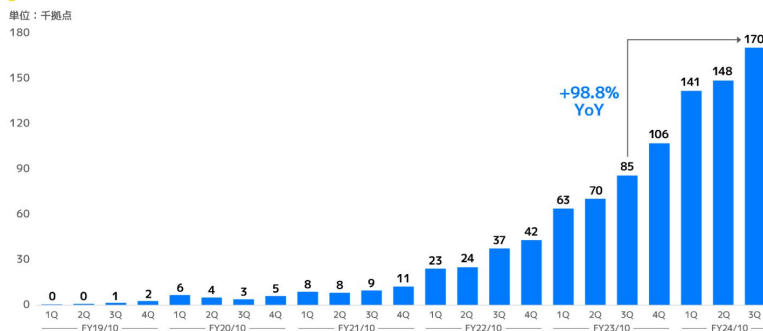
2024年10月期 第3四半期決算説明資料 P12

アクティブアカウント数の推移

Timee

3Qのアクティブアカウント数(AA数)^{※1}は順調に積み上がり、過去最高(+98.8% YoY)。

アクティブアカウント数



※1月に少なくとも1つの求人掲載した登録クライアント事業所数。各四半期における3ヶ月のアクティブアカウント数の合計を示しており、かかる数値は四半期中に少なくとも1つの求人掲載した登録クライアント事業所数よりも大きくなる可能性がある

12

Q2. FY24/10 3Q 累計・単体共に営業利益率が前年同期比で減少している要因は何でしょうか。

FY23/10 4Q から本格開始したクライアントマーケティングの影響によるものです。昨年と今年を比べた時に今年のみクライアントマーケティング増加が含まれているためであり、FY24/10 4Q からは対前年比較で平準化する予定です。

クライアントマーケティングは小規模のクライアント獲得を目的としたものです。クライアント獲得については、サービス開始以来、大・中規模のクライアントに対して精力的に営業活動をしており、この方針は今後も大きく変わりません。一方で、全社ベースの利益水準を見ながら、獲得効率を悪化させない範囲で、適切な額をクライアントマーケティングにも投下しております。

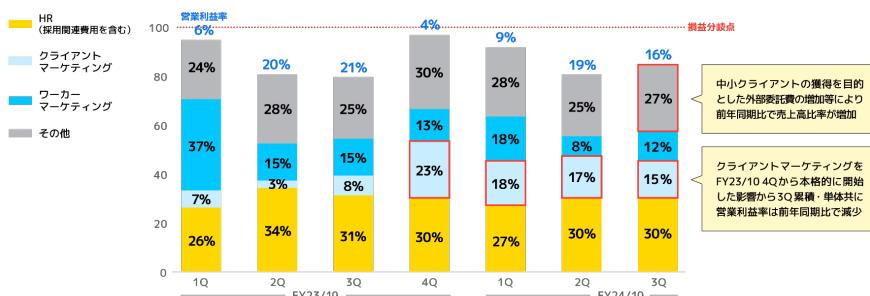
2024年10月期 第3四半期決算説明資料 P17

利益率の更なる改善に向けた明確な道筋

Timee

前年同期比でのワーカーマーケティングの売上高比率減少の傾向は継続。FY23/10 4Qから本格的に開始したクライアントマーケティングの影響から、前年同期比でクライアントマーケティングの売上高比率は増加。

コスト内訳(対売上高比率)(四半期推移)^{※1}



※1: 販売費及び一般管理費の内訳はNon-GAAP指標。HRは営業チーム、バックオフィスなどの給与を含む。ワーカーマーケティング費用とクライアントマーケティング費用は、ワーカー又はクライアントの獲得のための広告宣伝費(デジタル広告が大半)、その他は、売上原価、販売促進費、その他マーケティング費用、外部委託費、販売代理店手数料、回収業者費用、その他費用・手数料を含む

17

Q3. FY24/10 3Q 累計・単体共に当期純利益が減益となっている要因は何でしょうか。

当期純利益は FY23/10 期は繰越欠損金を適用しましたが、FY24/10 期は繰越欠損金解消による影響で減益しております。

Q4. 2024年10月14日の一部報道はどのように事業に影響するのでしょうか。

2024年10月14日、一部報道機関において、スポットワークアプリを利用するユーザーが無断欠勤をした場合に、当該ユーザーを無期限利用停止とすることを違法とする厚生労働省の指導について報道されておりますが、弊社は昨年、厚生労働省との協議を経て、サービス利用停止期間を「無期限」から「一定期間」へ変更しております。

弊社はこれまでも厚生労働省の方針に沿って関係機関と協議をしながら、サービスの改善等に対応してまいりました。今後も関係機関と協議しながら、皆様に安心してご利用いただけるサービスを提供してまいります。

Q5. 「最低賃金」の上げはどのように影響するのでしょうか。

タイミー事業にとってポジティブに働くと考えております。

タイミーで掲載されている募集案件の時給は最低賃金以上である必要があります。そして、タイミー事業の売上は、流通総額（ワーカーに支払われる給与及び交通費）x 平均テイクレイトで算出でき、最低賃金の上げによってワーカーに支払われる給与が増加すれば、弊社の売上の増加にも寄与します。

一方で、タイミーで掲載されているすべての案件の時給が最低賃金で設定されているわけではないため、最低賃金の上昇分、弊社の売上が上昇するわけではございません（仮に、最低賃金が 5%上昇しても、弊社の売上が同様に 5%上昇するわけではございません）。

Q6. 外国籍のワーカーはいますか。

外国籍のワーカーもおりますが、全体に占める割合は非常に少ないです。

現在タイミーでは就労制限のない在留資格を有する方のみ対応しており、対面で本人確認書類の確認を行っております。

ご参考：過去の「よくある質問と回答」

[2024年10月9日開示](#)